

2014 年度事業報告書

活動概況

活動状況

2014 年度の都市生活コミュニティセンター(以下、TCC)は、事業の柱となっている「地域福祉」とともに、「災害救援」では引き続き東日本大震災の救援活動に重点を置いて活動しました。また将来へ向けての取り組みとして、「地域福祉構想プロジェクト」を設置し、今後取り組む事業についての検討を進めました。活動形態はこれまで通り、「事業収入を得て行う事業部門」「ボランティアな活動を支援する部門」の 2 つで行いました。

事業収入を得て行う事業部門は「介護保険事業」と「施設管理事業」で、いずれも地域福祉を担っています。

介護保険事業では「あ・し・す・と」「あしすと武庫之荘」「あしすと神戸北」の 3 事業所で事業を展開しました。利用者本位の訪問介護・居宅介護支援事業を進めるとともに、ヘルパー・ケアマネジャーの資質の向上や地域の福祉力を向上するための研修にも取り組みました。

施設管理事業(ソーシャルコート神戸北)は入居者確保に貢献する管理事業を目指し、入居率 93%を維持しました。

ボランティアな活動を支援する部門は、「ボランティア部門」で、災害救援と地域福祉を担っています。

ボランティア部門では、2011 年から継続して、生活クラブ都市生活・エスコープ大阪と連携して、東日本大震災救援活動に取り組みました。緊急救援活動では 8 月に発生した丹波市市島町の土砂災害への対応を行いました。

「ボランティアグループすまいる」「ミュージックセラピーグループハーモニー」など既存の団体が継続して活動したほか、セルフケアの取り組みとしての「シャンシャンの会」「ハワイアンの会」も順調に活動を続けています。

「熟年セミナー」は講演会形式で 2 回開催し、いずれも参加者の好評を得ました。

今後取り組むべき事業の検討を進めるため、「地域福祉構想プロジェクト」会議を設置しました。武庫之荘地域での高齢者住宅構想が具体化し、これに絞っての検討を行いました。

財政状況

2014 年度は 7 期連続の黒字となりました。ソーシャルコート神戸北の入居者数が上限近くで安定化していることが大きな要因ですが、2015 年度には介護報酬の改定もあり、減収が想定されます。財政面からも他の事業展開の準備を進めていく必要があります。

介護保険事業では、介護職員処遇改善加算を活用した給与改善を継続して行っています。

介護保険事業

【介護保険法に基づく居宅サービス事業・居宅介護支援事業、障害者自立支援法に基づく障害者支援サービス事業】

訪問介護事業のサービス提供時間の合計は 16, 879 時間で前年度比 94.8%、利用高は前年度比 99%の 6,828 万円となりました。

事業所別では垂水の利用が微増、神戸北・武庫之荘は微減となりました。神戸北の減少は、年度後半にサービス付き高齢者向け住宅入居者への援助内容を見なおした結果、提供時間が減少したものです。武庫之荘については年度後半より回復基調にあります。

居宅介護支援事業は武庫之荘と神戸北で行い、利用件数は 1,186 件で、前年度より 71 件増加しました。今年度は訪問介護の利用者数が伸びています。

より充実したサービスを提供すべく、また周辺地域との連携を深めるため、職員や地域を対象とした研修に積極的に取り組みました。武庫之荘が近隣の他の事業所にも呼びかけて開催している身体介護勉強会は、3 年目となり、そこで生まれた人のつながりが普段の業務での信頼関係にもつながっています。神戸北では自治会と連携して開催している介護教室も 2 年目に入り、地域の福祉力の向上につながる取り組みとして評価され、引き続いての開催が決まっています。

1. あしす・と

・訪問介護で目標に掲げたサービス提供時間 450 時間/月、利用者数 40 人/月は達成にいたりませんでした。

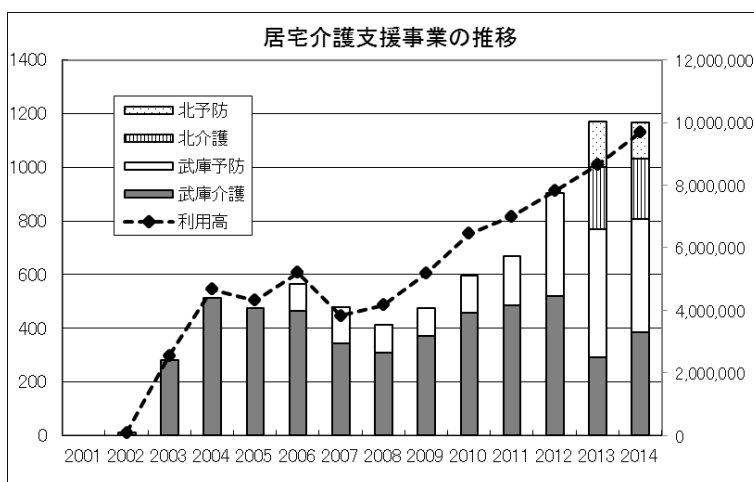
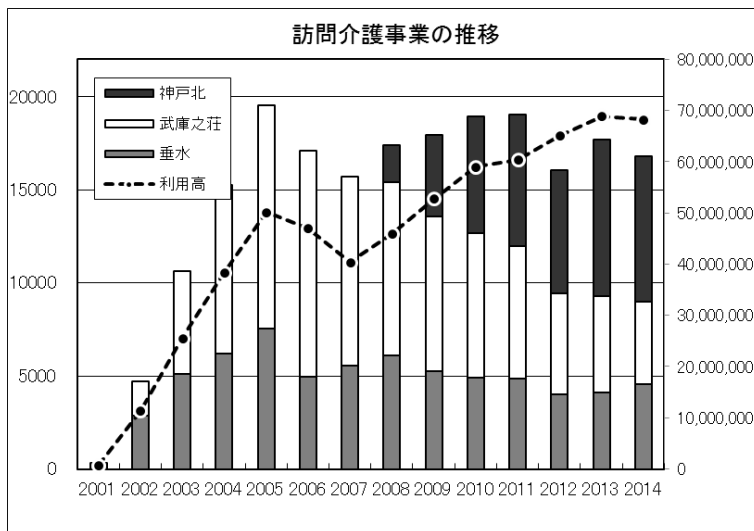
・他事業所のケアマネジャーと連絡を密にし、利用者に信頼・安心して頂けるように努めました。援助時間数、利用者数ともに増加しており、事業高の上昇につながりました。

・ヘルパー不足により常勤職員がヘルパー業務に入らざるをえないことが多く、新規開拓の時間が確保できませんでした。

・障害福祉事業は支援なしでした。

・定例のあしすと会議は年 12 回開催し、研修と情報交換を行いました。

・あんしんすこやかセンター(地域包括)主宰の地域ケア会議にかかさず参加し、連携を深めました。



	訪問介護事業		障害者福祉事業	
	利用者数	時間数	利用者数	時間数
合計	361	4,531	0	0

2. あしすと武庫之荘

1) 訪問介護

・訪問介護はサービス提供時間 500 時間/月を目指しましたが、平均 371 時間/月で達成できませんでした。新規の依頼がコンスタントにあり、利用者数は 39 人から 49 人と大幅に増加しました。

・登録ヘルパー 20 人、常勤ヘルパー 1 人を目標に仲間づくりに取り組み、新たに 2 人のヘルパーが仲間になりました。退職者もありましたが年間の目標達成のためにメンバーそれぞれが働く時間数を伸ばすなどの工夫をし、一丸となって頑張りました。

・毎月 1 回「あしすと会議」を開き、事業所運営のための意見交換・報告などを行いました。また同時に事業所内研修を行い、今年は特に認知症に取り組みました。ロールプレイング形式で行うことで、より具体的に課題を抽出することができ、新たな支援方針につなげました。

・年 4 回のあしすと武庫之荘主催の身体介護研修会(=右写真)では、ほぼ全員のヘルパーが参加してスキルアップを図ることができました。他事業所にも多数参加いただき、一緒に学び、交流することで地域でのつながりが更に深まったように思います。日頃の援助についての課題を共有でき、互いにいい刺激にもなりました。



・障害福祉事業は支援なしでした。

2) 居宅介護支援

・利用者数(平均)要介護 30 件/月、要支援 35 件/月。それぞれのケアマネジャーが活動する地域で昨年度よりも実績を増やしています。新規利用者 19 件。市内の地域包括支援センターとの連携も深め、信頼を頂いています。

・武庫之荘北会館にて地域の方向けの介護勉強会を 2 回開催しました(7 月:在宅介護者向けの体に無理のない介護について=右写真、11 月:地域サービスの協力で介護予防のためのヨガなど)。参加された方は日頃疑問に思われていたことなど気楽に話され、交流を深めることができました。



・居宅介護支援の研修会や交流会などに積極的に参加し、スキルアップにつなげるとともに地域ケアの中でのあしすとのあり方を考える 1 年となりました。

	訪問介護事業		障害者福祉事業		居宅介護支援
	利用者数	時間数	利用者数	時間数	利用者数
合計	501	4,457:30	0	0	827

3. あしすと神戸北

1) 訪問介護

・訪問介護はサービス提供時間 700 時間/月を目指しました。通院介助は介護保険適用が難しく「たすけあい」で対応した事例もあり、たすけあいが 100 時間/月を超える一方、訪問介護事業は 600 時間/月に留まりました。

・ヘルパーの質を高めるために学習会・研修会に参加しました。病院地域連携室主宰の研修会や地域包括の研修に参加しました。

・地域(自治会)の福祉担当者と連携し、研修会を 2 回開催しました(7 月:認知症予防、2 月:介護食)。ともに多くの地域の方の参加がありました。

・現行の介護保険制度では対応できない方の要望に応えるため、「たすけあい」活動の充実に努めました。

・計画に組み込んだヘルパー個々のスキルアップで、介護福祉士国家試験に 5 名が合格しました。

2) 居宅介護支援

・居宅介護支援事業 1 人の専従と週 2 日の非常勤で活動しました。「ソーシャルコート神戸北」以外の利用を 3 件確保しました。

・他の事業所のケアマネジャーとも連携し、利用者本位とはなにかを突き詰め、観察力を磨きながら、より質の高いサービスを目指しました。

	訪問介護事業		たすけあい		居宅介護支援
	利用者数	時間数	利用者数	時間数	利用者数
合計	456	7,860	235	1,203	359

4.事業所共通

1) 総会

2014年5月11日(日) 10:30～ 兵庫勤労市民センター

「あ・し・す・と」「あしすと武庫之荘」の2つのワーカーズが日程を揃えての7回目の総会になりました。「あしすと神戸北」のメンバーもオブザーバで参加し、交流を深めました。

2) 季刊紙発行

2014年6月、9月発行(A4版2ページ)

生活クラブ都市生活の組合員、地域や利用者、他の事業所に配布して、あしすとの活動を知って頂くとともに、共に働く仲間の募集を呼びかけました。2014年度は年2回発行しました。

5. 介護保険等の高齢者福祉事業に従事する実務者研修

【地域福祉に関する事業又は活動を行う市民団体のためのリーダー養成・講習会の開催】

各事業所で開催・参加した主な研修を下記に掲げます。

- ・身体介護勉強会:あしすと武庫之荘、年4回:6月22日、10月12日、12月21日、2月15日
- ・料理研修勉強会:あしすと武庫之荘、7月29日、「ワンポイントお料理教室」講師:小林幸子ヘルパー
- ・あんしん在宅介護講座:あしすと神戸北、7月19日「認知症」、1月16日「介護食」、筑紫が丘自治会
- ・神戸学院大学公開講座・社会人キャリアアップ講座(2014年5月～2015年2月、武庫之荘3人、神戸北1人参加)
- ・このほか各事業所ごとに毎月開催している「あしすと会議」の際に内部研修を実施しています。

施設管理事業

【地域福祉に関する事業又は活動を行う市民団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動】

1. サービス付き高齢者向け住宅「ソーシャルコート神戸北」の建物管理運営業務

ソーシャルコート神戸北の施設管理事業(受託事業)は7年目を迎えました。

2014年度は入居率45室(90%)以上の維持を目標に掲げ、年間平均93%の入居率を達成し、安定的な状態を保っています。入居者の方々に日常生活支援サービスを提供してきたほか、あしすと神戸北と連携して介護保険サービス・たすけあいの提供も行いました。

2009年度から受託した食事提供サービスも継続し、入居者の方々におおむね好評を持って迎えられています。食材には生活クラブ都市生活の消費材を取り入れているほか、災害救援でつながりの出来た出石町日野辺区の米を利用しています。

1) 入居者数推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居室数	46	47	48	45	46	45	47	46	47	47	47	48
入居者数	48	49	49	47	48	47	49	49	50	49	50	51
入居率	92%	94%	94%	90%	92%	90%	94%	92%	94%	94%	94%	96%

2) 行事・イベント一覧

(1) イベント

2014年6月23日 梅ジュース作り=右上写真(王隠堂農園)、7月16日 交通安全教室(北署)、7月21日 ミュージックセラピー、8月31日 納涼会、9月15日 敬老会(ミュージックセラピー)、11月22日 干し柿づくり=右下写真(王隠堂農園)、11月24日 ミュージックセラピー、12月4日 クリスマス(ウクレレ)、12月26日 餅つき

2015年1月24日 新年会(和太鼓)、2月2日 節分餅つき、2月13日 オカリナ演奏会(誕生会)、3月15日 ひな祭り(ミュージックセラピー)



(2) 定例行事

毎日:ラジオ体操

毎週:都市生活喫茶、ぬりえ、買い物ツアー

毎月:誕生日会、いきいき体操

ボランティア部門(災害救援)

1. 内外の自然災害における応急救援や生活支援、およびそのために必要な調査、連絡、人員派遣等

【自然災害の被災者の生活の救援・復興支援のための救援物資調達・配送、募金活動】

1) 東日本大震災救援活動

2011年3月11日に発生した東日本大震災について、前年度より引き続き救援活動を行いました。

生活クラブ都市生活・エスコープ大阪と立ち上げた「東日本大震災支援プロジェクトチーム」で、両生協の組合員にカンパをよびかけ、それを原資とした活動を行いました。以下に取り組んだ活動を掲げます。

(1) リフレッシュツアーの開催

①親子版(7月開催)

7月29日～31日の3日間、生活クラブふくしまの組合員とその親子7家族14名(うち子ども11名)を淡路島・神戸に招待しました。今回は神戸大学生協の協力をいただき、六甲台の生協食堂で生活クラブの消費材を使用した夕食交流会を初日に行いました。食後にふくしまのみなさんと生活クラブ都市生活・エスコープ大阪の組合員がそれぞれの想いを語り合いました。



天候にも恵まれ、初日はしあわせの村で外遊び、2日目も快晴の

空の下で淡路島での海水浴を楽しみました。放射線の影響を鑑みず、何の心配もなく思いっきり遊べる機会は大切な時間となりました。

親子版ツアーの交通費と子どもの甲状腺検査費用は生活クラブ連合会のカンパを原資としています。

②大人版(5月開催)

5月17日・18日の2日間、生活クラブふくしまの組合員6名を堺・京都に招待しました。これまでの支援は子どもや親子に重点を置いていましたが、震災から3年を迎え、大人がリフレッシュする機会も必要と企画しました。

初日は堺で千利休の関連史跡、2日目は京都観光を実施。夜の懇親会では、福島では口に出せない放射能汚染への不安や、震災直後の暮らしぶり、現状やこれからのこと、子どもの前では言いにくいことなども、大人同士じっくりと話すことができました。

初めて実施した「大人版」のツアーは、6人の定員に18人の応募者がありました。今後も必要性があると考え、取り組みを進めていきたいと考えています。



(2) 被災地に学ぶスタディツアーの開催や講演会・座談会の企画

① 福島を知る活動「福島は今」

- ・9月13日 エスコープ大阪本部センター(18名参加)
- ・9月14日 神戸市立勤労会館(25名参加)

被災地の報道が減少した現在、福島の実情を知って今後の支援活動へとつなげたいという趣旨で、現地で活動している方をお迎えしての講演会・座談会を開催しました。生活クラブふくしまの組合員・新関まゆみさんと土山雄司専務理事をお招きし、新関さんからは当時高



校生だったお子さんとの自主避難生活や福島への帰還後も線量の高い地域での暮らしを続けている様子、土山専務からは生活クラブふくしまの放射線被害への取り組みについて、お話を頂きました。

② 中高生スタディツアー

8月に2泊3日で「中高生被災地スタディツアー」を企画しましたが、応募者が最少随行人数に満たなかったため、実施できませんでした。

(3) 被災地支援グッズの取り扱い

東北各地で作られている復興支援の手作りの品などの販売に引き続き協力し、各活動の共有を拡げました。生活クラブ都市生活の大試食会・アースディイベントブース・総代会、兵庫県生協大会、エスコープ大阪の本部センターで取り扱いました。

- ・エコたわし(福島県新地町小川公園仮設住宅)
- ・女川ママサポーターズ(宮城県女川市/共生地域創造財団扱い)
- ・まけないぞう(岩手県/被災地 NGO 協働センター扱い)

(4) その他、被災地・被災者の救援に関わる活動

① 「青空市」支援

生活クラブふくしまでは2011年6月から、新地町の仮設住宅で住民の買い物の便をはかるための「青空市」を開催してきました。プロジェクトチームでは同年8月より、関西の生産者・組合員と協力して、青空市での販売物を送る活動を毎月続けてきました。



仮設住宅から住民の転出が進んだことから、青空市も2014年6月で終了。6月14日には新地町小川公園仮設住宅で「青空市ファイナル」イベントが開催され、プロジェクトチームからは4名が参加しました。仮設住宅での青空市や交流会イベントに参加した他、被災状況の視察や今後の展望について意見交換を行いました。

○販売物支援

- ・4月:新生会:カトルカール+すずかけ作業所:クッキー、生活クラブ都市生活組合員:いかなごのくぎ煮
- ・5月:大矢商店:こんにやく
- ・6月:愛農会:玉ねぎ

② 粉もん交流会と相馬・新地訪問

2015年1月24日・25日の2日間、東日本大震災支援プロジェクトのメンバー4名で福島県を訪問しました。

1月24日は福島県福島市で生活クラブふくしまの組合員のみなさんとの「粉もん交流会」を行い、皆で焼いたお好み焼きを囲みながら交流を図りました。

翌25日は相馬市と新地町を訪問。生活クラブふくしまの組合員のみなさんが相馬・新地で準備を進めている復興支援活動の取り組みの様子などをお聞きしました。



③ 被災地域の生産者交流

・長根水産交流会

2014年4月11日・12日、鮭フレーク生産者「長根水産」の長根徹社長と長根美紀工場長をお招きしました。長根水産は関西独自取り組みの生産者で、生活クラブ連合会の活動とは別に、プロジェクトで支援を行っており、交流会は2012年1月以来2年ぶり2回目の開催となりました。

11日はエスコープ大阪にて「長根水産おはなし交流会」、12日には生活クラブ都市生活の大試食会に、試食ブースを設けて参加。交流会では被災経験やこれまでの経過、そして支援への感謝のお話を頂きました。交流会後には今後の復興の参考にと、「人と防災未来センター」を見学しました。



④ 県外避難者支援

・リフレッシュカフェ(堺)

東日本から関西に避難してきた方々が集う場として「リフレッシュカフェ」を開いてきました。

2014年は堺でエスコープ大阪の組合員と桃山学院大学のボランティアが中心となって、およそ月一回のペースでリフレッシュカフェを開催。毎回3組ほどの県外避難者親子が来訪され、5人前後のボランティアが活動してきました。避難生活が長くなるにつれ大阪に永住する家族もあり、個々人の状況も異なるようになり、カフェの活動は12月で終了しました。

開催場所	開催回数
梅文化会館(堺市南区)	8回

⑤ 福島の子どもと知る権利を守る2生協が関わる甲状腺検査活動

生活クラブ連合会は2012年度から、福島県と他の地域での子どもの健康に対する放射能の影響を比較検討するため、各地で甲状腺検査活動をすすめています。生活クラブ都市生活(22名)とエスコープ大阪(20名)もこ

の活動に取り組み、両生協の組合員が甲状腺検査に参加しています。甲状腺検査の費用は連合会のカンパを原資とし、検査時の交通費は独自カンパでまかっています。

⑥ 支援活動報告

生協の組合員等に対して、下記の機会にポスターや口頭による活動報告を行いました。会場によっては被災地グッズの販売も行いました。

- ・アースデイ神戸:2014年5月4日・5日 みなとのもり公園(神戸市中央区)
- ・兵庫県生協大会:2014年10月9日 兵庫県民会館(神戸市中央区)
- ・あいたくて都市生活(西会場):2014年10月19日 明石市産業交流センター
- ・生活クラブ都市生活支部のつどい:2015年3月3~7日 生活クラブ都市生活の全10支部

2) 日野辺地区との交流事業(日野辺区運動会)

豊岡市出石町日野辺区との交流は、2004年10月の台風23号水害の救援活動を縁に続いています。

2014年は水害から10年の節目を迎えることもあり、10月25日に理事・ボランティア4名で日野辺区を訪問。地区の視察と地域のみなさんとの交流を行いました。

3) アフガニスタン写真展の開催

10月5日、西宮市市民交流センターを会場に「アフガニスタン写真展&ギャラリートーク」を開催しました(共催:生活クラブ都市生活・CODE 海外災害援助市民センター)。2001年からこれまでのアフガニスタンの復興支援の歩みと、最新の現地の状況を伝える写真を展示し、CODEの村井雅清理事を招いてギャラリートークを行いました。30名の参加があり、現地で収穫したレーズンの試食も行いました。



2. 自然災害発生時の救援活動・他団体の連携

【自然災害の被災者の生活の救援・復興支援のための救援物資調達・配送、募金活動】

1) 丹波市市島町水害救援活動

8月16日~17日にかけての集中豪雨で、丹波市一体で土砂災害による被害が発生、特に丹波市市島町に大きな被害が集中しました。8月23日に都市生活コミュニティセンター理事2名・生活クラブ都市生活理事・生活クラブ関西職員の計4名で丹波市市島町を訪問し、都市生活の生産者を訪ね、被災従業員宅でボランティア活動にあたりました。

その後、生活クラブ都市生活・エスコープ大阪の組合員に支援金を呼びかけ、1,266,000円のカンパ金が集まりました。この支援金は山名酒造を通じて被災した丹波市市島町の有機農家の方々に届けました。



3. 災害復興制度に関する研究・提言等

【自然災害からの市民・住民の生活復興支援のための社会制度及び市民自身が支え合う仕組みに関する調査研究】

1) 関西学院大学災害復興研究所

池田理事が特別研究員として参加しています。

2) 日本災害復興学会

池田理事が広報委員(副委員長)として参画しています。

ボランティア部門(地域福祉)

1. ふれあい喫茶

【阪神・淡路大震災の被災住民の自主的復興活動への支援のための復興住宅訪問・茶話会の開催】

阪神・淡路大震災での青空市終了後、災害復興住宅の集会室で実施している「ふれあい喫茶すまいる」は、ボランティアグループすまいるが運営を担い TCC の中でも最も長期に渡る活動の一つです。

阪神・淡路大震災から 20 年、ふれあい喫茶を始めて 16 年を経て、地域に定着していますが、住民の高齢化に伴う様々な理由で参加人数が減少しています。

当面、ふれあい喫茶を継続しながら、神戸市が取り組む地域ケアの活動に移行していく方向性を探っています。

開催場所	開催回数	活動者数(スタッフ)	参加人数
HAT 神戸脇浜地域福祉センター	50 回	220 人	778 人

開催場所	開催回数	活動者数(スタッフ)	参加人数
ろっこう医療生協東雲診療所	12 回	24 人	118 人

1) 地域のボランティア活動体験(トライやるウィーク)の受入れ

兵庫県が県内の中学 2 年生の社会体験実習として行っている「トライやるウィーク」の受け入れを、2014 年度も実施しました。12 月 9 日のすまいる喫茶で、神戸市立港島中学校の生徒 4 人を受け入れました。



2. ミュージックセラピー

【ミュージックセラピーのセッション実施事業およびミュージックセラピスト養成事業】

1) ミュージックセラピーのセッション実施事業

ミュージックセラピーグループ・ハーモニーが、「～グループを超えて会員同志の交流を深めよう～」を年間テーマに、6 つのグループが下表の通りの活動を実施しました。

2015 年 1 月 17 日に「1.17 と 3.11 をつなぐ会(於:神戸市勤労会館、主催: 1.17 市民追悼のつどい実行委員会)」にて、プアムレ(花音)(=ハワイアン会)と共演してセッションを行いました。

2014 年度はハミングが「なごみの里」(神戸市西区)を新たな活動場所に加え(5 月～)、銀の星が 6 月に初めて「ひまわり給食会」(神戸市垂水区)でのセッションを行いました。

グループ名	会員	活動地域	活動回数	活動者数	対象者数
コスモス	40 人	尼崎市・神戸市北区	54 回	374 人	1,430 人
ハミング	23 人	神戸市垂水区・須磨区・西区	77 回	380 人	1,487 人
レインボー	11 人	尼崎市	5 回	28 人	67 人
銀の星	17 人	明石市・神戸市兵庫区・中央区・須磨区・垂水区	26 回	145 人	585 人

ミュージックすまいる	7人	神戸市中央区・尼崎市	25回	65人	260人
ハーモニー	59人	神戸市北区	4回	24人	95人
合計	61人※1		191回	1,016人	3,924人

※1 重複を除いた実人数。

2) ミュージックセラピーのセッションを担うボランティアの養成事業

2014年11月9日、16日、12月7日の3日間に施設体験1日を加えた、第18期養成講座を西宮市市民交流センター(西宮市)で開講しました。講座の目的である仲間づくりを全面に押し出す工夫を行い、修了生8人全員をハーモニーの会員として迎えることができました。



3) ミュージックセラピーについての研鑽と交流

- ・外部講師による学習会を2回開催し、会員の学習意欲に応えました(2014年7月13日、9月6日)。
- ・養成講座を学習会と位置づけ、ふだん一緒に活動していない会員が協力して養成講座の中でセッションを行ったり、そのセッションに参加者役で参加することで教え合いができました。
- ・セッションを録画したDVDを教材に、事例検討会を行いました(2015年2月15日)。

4) 総会

2014年5月25日(日)にコミスタこうべ(神戸市中央区)で開催しました。

セルフケアの取り組み

1. シャンシャンの会

【地域福祉に関する事業又は活動を行う市民団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動】

2012年度の熟年セミナーの修了生を中心にスタートした「シャンシャンの会」は、引き続き月1~2回のペースで活動を行っています。

毎回、曾和光代先生(神戸親和女子大学名誉教授)指導のもとセラバンドで2時間ほどの体操を行うほか、熟年セミナーで学んだ認知症予防の運動も取り入れています。相互扶助の視点から自分たちの将来を考えていくことを目的に、会員相互の情報交換を行っています。

開催場所	開催回数	参加人数
西宮市市民交流センター	26回	154人

2. ハワイアンの会

2011年度までTCCで開催していた「ほっこりサロン」の参加者が、フラダンスを通じて仲間の輪を広げ、リフレッシュをはかる目的で立ち上げました。2014年度は月2回(第1日曜日午後と第3土曜日午後を追加)のペースで、西宮市市民交流センターで活動しています。

ストレッチやツボをマッサージし心と身体をほぐす事から始めています。その後ステップ練習をしてから踊りの練習をしています。

毎年一曲テーマ曲を決め勉強会の参加やボランティア活動で踊るために昨年の「涙そうそう」に続き今年「しあわせ運べるように」を練習して「1.17と3.11をつなぐ会」でハーモニーとコラボセッションを行いました。

開催場所	開催回数	参加人数
西宮市市民交流センター	18回	128人

3. 社会的課題に関する学習会・講習会・交流会等の開催事業

【地域福祉に関する事業又は活動を行う市民団体のためのリーダー養成・講習会の開催】

1) シリーズ熟年セミナーの開催

これからの人生を考え、相互扶助の取り組みにつながるテーマのセミナーを下記のとおり開催しました。

- ① 6月21日(土) 「老いの質を高める～『私たちにできる予防』が見えてきた」 参加:97人

講師:鈴木隆雄氏(独立行政法人国立長寿医療研究センター研究所長)

- ② 12月14日(土) 「認知症予防の『エクセサイズ』」 参加:61人

講師:土井剛彦氏(独立行政法人国立長寿医療研究センター研究員)



将来事業の推進に関わる取り組み

今後取り組むべき事業の検討を進めるため、「地域福祉構想プロジェクト」会議を設置しました。武庫之荘と神戸北の2地域の検討を行う計画でしたが、武庫之荘地域での高齢者住宅構想が具体化したため、これに絞って検討を行いました。

・会議:2014年7月～2015年3月まで9回開催(あしすと武庫之荘)

・施設見学会

2015年3月6日 ニッケ加古川(加古川市)

2015年3月28・29日 NPO法人結いのき(グループホーム・ディサービス・高齢者住宅)(山形県米沢市)

阪神・淡路大震災 20年に関わる取り組み

2015年1月17日が阪神・淡路大震災の発生から20年に当たることから、ウェブサイトに特集コーナーを開設し、震災当初からの資料のアーカイブと、当時の活動から現在までを振り返るインタビューを掲載しています。

認定 NPO 法人の認定に関わる取り組み

2013年度より進めてきた認定 NPO 法人の取得手続きの準備が進み、2015年2月に兵庫県に申請書を提出、受理されました。今後、担当部局のヒアリングなどを経て、2015年度の早い段階で認定を得られる見通しです。

情報提供に関わる活動

1. 情報提供

【情報提供】

機関紙「News」(A4版2ページ)を毎月1回・年12回発行しました。また引き続き本法人のホームページを利用した情報発信を行っています。

2. IT 事業

- ① 非営利活動・コミュニティビジネス等公益的活動に関するホームページの運営等

【非営利活動の情報発信力の強化を支援する事業】

印刷事業は新規受注を停止し、関連団体等のニュースレターの作成のみ継続しています。ホームページ事業は原則として、現在管理しているサイトの管理業務のみ継続受託しました。

②その他の事業

【その他の事業～ホームページ制作管理事業】

IT 事業と同内容の事業ですが、相手先が NPO 等の場合は特定非営利活動に関わる事業として分類し、それ以外の場合はその他の事業に分類しています。2014 年度は市民派の政治家等のウェブサイトやニュースレターの製作を行いました。

他団体との連携

【地域福祉に関する事業又は活動を行う市民団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動】

兵庫県南部の市民活動団体と様々な連携・協力関係を築いています。2014 年度は以下のネットワーク、団体に役員として参画しました。

▽ひょうご市民活動協議会(運営委員=福田)▽にしのみや NPO 協会(理事=池田)▽ひょうご・まち・くらし研究所(研究員=池田)▽災害看護支援機構(理事=池田)▽ゆうあいサロン(監事=池田)

組織

1. 会議

1) 総会

・2014 年度通常総会

日時 2014 年 6 月 21 日(土) 10:50～12:16

会場 兵庫県民会館・福の間

出席者 正会員 32 人(うち書面議決書 13 人) ※正会員総数 36 人

審議事項 第 1 号議案 2013 年度事業報告及び活動計算承認の件(全員異議なく承認可決)

第 2 号議案 2014 年度事業計画及び活動予算承認の件(全員異議なく承認可決)

第 3 号議案 定款一部変更の件(全員異議なく承認可決)

第 4 号議案 理事の改選の件(満場一致で専任)

記念企画:熟年セミナー「老いの質を高める～『私たちにできる予防』が見えてきた」

講師:鈴木隆雄氏(独立行政法人国立長寿医療研究センター研究所長)

2) 理事会

	開催日	主な審議事項、協議事項、決定事項	出席者
第 1 回	2014 年 4 月 19 日	総会(議案)について、就業規則の改定について	理事 7 名、事務局 2 名
第 2 回	2014 年 5 月 17 日	総会(議案・役員)について	理事 9 名、事務局 2 名
第 3 回	2014 年 6 月 21 日	2014 年度総会議案	理事 9 名、事務局 2 名
第 4 回	2014 年 7 月 19 日	地域福祉構想プロジェクトの推進について	理事 7 名、事務局 2 名
第 5 回	2014 年 8 月 16 日	東日本大震災支援活動について	理事 9 名、事務局 2 名
第 6 回	2014 年 9 月 20 日	丹波市市島町水害の対応、東日本大震災支援について	理事 8 名、事務局 2 名
第 7 回	2014 年 10 月 18 日	東日本大震災支援について、諸活動の報告	理事 8 名、事務局 2 名
第 8 回	2014 年 11 月 15 日	理事研修企画について、武庫之荘地域福祉構想について	理事 9 名、事務局 2 名
第 9 回	2014 年 12 月 20 日	就業規則の改定について、東日本大震災支援について	理事 8 名、事務局 2 名
第 10 回	2015 年 1 月 17 日	東日本大震災支援、文書事務取扱及び保存規定について	理事 7 名、事務局 2 名
第 11 回	2015 年 2 月 21 日	役員報酬等規定について、東日本大震災支援について	理事 7 名、事務局 2 名
第 12 回	2015 年 3 月 21 日	役員報酬等規定について、期末手当の支給について	理事 8 名、事務局 2 名

会場は西宮市市民交流センター(4・5 月、7～10 月、1～3 月)。兵庫県民会館(6 月)、西宮市中央公民館(11 月)。

3) 管理者会議

介護保険事業を運営するための管理者会議を毎月 1 回(年 12 回)開催しました。

構成メンバーは、介護福祉事業担当理事(佐々木/あしすと神戸北居宅介護支援管理者)=議長、あ・し・すと管理者(内橋)、あしすと武庫之荘管理者(橋本/訪問介護、落合(～'14.5)・高橋('14.6～)/居宅介護支援)、あしすと神戸北管理者(吉岡/訪問介護)、事務局長(福田)です。

4) ソーシャルコート神戸北運営会議

ソーシャルコート神戸北を運営するための会議を毎月 1 回(年 11 回・6 月は休会)開催しました。

構成メンバーは、理事長(林)、ソーシャルコート神戸北管理者(池田)、同サービス統括責任者(高岡・

～'14.12)、副理事長(佐々木)、事務局長(福田)、事務局(小松、松井一郎)です。

5) ボランティア部会

都市生活コミュニティセンターのボランティア活動の発展強化に重点を置いた議論と企画を行うための会議を毎月1回(年12回)開催しました。構成メンバーは、理事長(林)、ボランティア担当理事(岡部)、同理事(松井初代)、事務局長(福田)、事務局(小松)です。

6) 武庫之荘地域福祉構想プロジェクト

2014年7月～2015年3月まで9回の会議を持ち、施設見学会を2回実施しました。構成メンバーは、理事長(林)、副理事長(佐々木)、ソーシャルコート神戸北管理者(池田)、あしすと武庫之荘管理者(橋本、高橋)、事務局長(福田)、事務局(松井一郎)です。

2. 会員

	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	増減
正/個人	30	32	36	32	35	35	34	32	29	-3
正/団体	6	6	5	5	5	4	4	4	4	±0
賛助/個人	185	190	193	207	227	198	189	191	179	-12
賛助/団体	24	20	20	11	12	8	5	3	4	+1
合計	245	219	254	255	279	245	232	230	216	-14

※会員数は原則として総会開催時点で集計しています。

3. 役員

	氏名	他の団体の兼務状況	当法人における経歴
理事長	林 佳子	生活クラブ生活協同組合都市生活特定監事	'11.7 理事 '11.7 理事長
副理事長	佐々木 京子		'03.11 理事 '07.7 理事長兼務介護福祉事業担当部長 '11.7 副理事長兼務介護福祉事業担当部長
理事	池田 啓一	NPO 法人災害看護支援機構理事 NPO 法人にしのみや NPO 協会理事(～'15.6) NPO 法人ひょうご・まち・くらし研究所監事 NPO 法人ゆうあいサロン監事	'01.8 理事 '01.8 理事兼務事務局長(～'09.3) '09.4 理事兼務ソーシャルコート神戸北管理者
理事	石川 雅可年	生活協同組合エスコープ大阪専務理事	'07.7 理事
理事	岡部 眞紀子	ボランティアグループすまいる代表 ミュージックセラピーグループハーモニー代表	'05.7 理事
理事	松井 初代	ミュージックセラピーグループハーモニー監事	'13.7 理事
理事	角田 学	生活クラブ生活協同組合都市生活専務理事	'01.8 理事
理事	小玉 智子	生活クラブ生活協同組合都市生活理事	'12.7 理事(～'14.6)
理事	島村 美穂	生活クラブ生活協同組合都市生活理事	'14.6 理事
理事	福田 和昭		'09.4 事務局長 '09.11 理事兼務事務局長
監事	井上 肇	生活クラブやまがた生活協同組合特別顧問 特定非営利活動法人結いのき専務理事	'02.6 監事

監事	王隠堂 政見	農事生産法人有限会社王隠堂農園代表	'02.6 監事
----	--------	-------------------	----------

4. 事務局

1) 事務局体制

事務局スタッフ	福田 和昭 吉田 英津子	事務局長 出納責任者
	小松 高志(生活クラブ都市生活) 松井 一郎	介護保険事業の事務、地域福祉活動のサポートなど 事務補助

2) 事務所所在地

事務所	兵庫県西宮市津門西口町 12-6 サンハイツ名田 B-1
-----	------------------------------

活動計算書

2014年4月1日から2015年3月31日まで

(単位：円)

科目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	711,000		711,000
賛助会員受取会費	619,000		619,000
2. 受取寄付金			
受取寄付金	331,000		331,000
3. 受取助成金			
受取助成金			
4. 事業収益			
ホームヘルプサービス事業収益	1,507,193		1,507,193
訪問介護事業収益	72,597,614		72,597,614
居宅介護支援事業収益	9,381,087		9,381,087
地域福祉援助事業収益	51,955,651		51,955,651
情報発信力強化支援事業収益	1,392,161		1,392,161
ホームページ制作・管理事業収益		79,992	79,992
5. その他収益			
受取利息	6,190		6,190
雑収入	338,348		338,348
経常収益計	138,839,244	79,992	138,919,236
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	77,015,650		77,015,650
法定福利費	4,702,338		4,702,338
退職給付費用	1,314,000		1,314,000
通勤費	1,771,845		1,771,845
福利厚生費	129,964		129,964
人件費計	84,933,797		84,933,797
(2) その他経費			
売上原価	9,337,460		9,337,460
業務委託費	1,592,532		1,592,532
諸謝金	46,806		46,806
印刷製本費	125,550		125,550
旅費交通費	1,160,316		1,160,316
車両費	602,762		602,762
通信運搬費	1,809,419		1,809,419
消耗備品費	49,751		49,751
消耗品費	3,006,498		3,006,498
修繕費	165,394		165,394
水道光熱費	6,601,020		6,601,020
地代家賃	3,557,435		3,557,435
賃借料	273,211		273,211
減価償却費	622,674		622,674
保険料	799,669		799,669
諸会費	16,978		16,978
負担金支出	259,083		259,083
租税公課	44,900		44,900
研修費	251,001		251,001
貸倒引当金繰入	5,906	632	6,538
支払手数料	1,027,567		1,027,567
新聞図書費	76,464		76,464
広告宣伝費	381,334		381,334
雑費	241,657		241,657
雑損失	4,365		4,365
その他経費計	32,059,752	632	32,060,384
事業費計	116,993,549	632	116,994,181

科目	特定非営利活動 に係る事業	その他の事業	合計
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	9,120,000		9,120,000
給料手当	2,812,719		2,812,719
法定福利費	2,101,011		2,101,011
退職給付費用	104,000		104,000
通勤費	1,037,404		1,037,404
課税通勤費	147,529		147,529
福利厚生費	11,682		11,682
人件費計	15,334,345		15,334,345
(2) その他経費			
業務委託費	222,223		222,223
会議費	32,642		32,642
旅費交通費	282,960		282,960
車両費	137,982		137,982
通信運搬費	268,689		268,689
消耗備品費	138,000		138,000
消耗品費	374,055		374,055
水道光熱費	115,312		115,312
地代家賃	1,111,116		1,111,116
賃借料	181,808		181,808
減価償却費	2		2
保険料	643,907		643,907
諸会費	25,350		25,350
負担金支出	11,112		11,112
租税公課	687,613		687,613
研修費	211,170		211,170
支払手数料	245,441		245,441
新聞図書費	44,856		44,856
交際費	7,540		7,540
雑費	538		538
その他経費計	4,742,316		4,742,316
管理費配賦	▲ 12,394	12,394	
管理費計	20,064,267	12,394	20,076,661
経常費用計	137,057,816	13,026	137,070,842
当期経常増減額	1,781,428	66,966	1,848,394
経理区分振替額	66,966	▲ 66,966	
税引前当期正味財産増減額	1,848,394		1,848,394
法人税、住民税及び事業税	328,849		328,849
当期正味財産増減額	1,519,545		1,519,545
前期繰越正味財産額	31,980,005		31,980,005
次期繰越正味財産額	33,499,550		33,499,550

特定非営利活動法人都市生活コミュニティセンター

貸借対照表
2015年3月31日現在

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	27,774,109		
未収金	17,611,854		
棚卸資産	237,005		
前払金	830,883		
立替金	124,289		
貸倒引当金	▲ 123,230		
流動資産合計		46,454,910	
2. 固定資産			
? 有形固定資産			
什器備品	116,667		
車両運搬具	23,606		
有形固定資産計	140,273		
? 投資その他の資産			
保証金	154,000		
敷金	50,000		
長期前払費用	1,151,999		
投資その他の資産計	1,355,999		
固定資産合計		1,496,272	
資産合計			47,951,182
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	871,756		
未払金	11,504,209		
前受金	716,416		
預り金	1,359,251		
流動負債合計		14,451,632	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			14,451,632
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		31,980,005	
当期正味財産増減額		1,519,545	
正味財産合計			33,499,550
負債及び正味財産合計			47,951,182

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針
財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正NPO法人会計基準協議会）によっています。

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
棚卸資産の評価基準は原価基準により、評価方法は個別法によっています。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
法人税法の規定に基づいて、有形固定資産は定率法で、無形固定資産は定額法で償却をしています。ただし、当期末で無形固定資産はありません。
- (3) 引当金の計上基準
・貸倒引当金
債権の貸倒損失に備えるため、税法上の収益事業に係る債権について、法人税法の繰入限度額相当額を計上しています。
- (4) 消費税等の会計処理
消費税は税抜経理により処理しています。

2. 事業別損益の状況
事業別損益の状況は以下のとおりです。

2014年4月1日～2015年3月31日
(単位：円)

科目	特定非営利活動にかかる事業			その他の事業 企業等対象印刷・ホームページ事業	事業部門計	管理運営部門	合計
	介護保険事業	施設管理事業	印刷・ホームページ/ホームページヘルプサービス事業				
I 経常収益							
1. 受取会費						711,000	711,000
正会員受取会費						619,000	619,000
賛助会員受取会費							
2. 受取寄付金						331,000	331,000
受取寄付金							
3. 受取助成金							
4. 事業収益							
ホームヘルプサービス事業収益			1,507,193		1,507,193	-	1,507,193
訪問介護事業収益	72,597,614				72,597,614	-	72,597,614
居宅介護支援事業収益	9,381,087				9,381,087	-	9,381,087
地域福祉援助事業収益		51,955,651			51,955,651	-	51,955,651
情報発信力強化支援事業収益			1,392,161		1,392,161	-	1,392,161
ホームページ制作・管理事業収益				79,992	79,992	-	79,992
5. その他収益							
受取利息	4,014	25			4,039	2,151	6,190
雑収入	2,222	219,532			221,755	116,593	338,348
経常収益計	81,984,938	52,175,208	2,899,354	79,992	137,139,492	1,779,744	138,919,236
II 経常費用							
(1) 人件費							
給料手当	33,433,684	43,186,936	395,030		77,015,650	-	77,015,650
法定福利費	2,439,196	2,263,142			4,702,338	-	4,702,338
退職給付費用	688,000	626,000			1,314,000	-	1,314,000
通勤費	571,222	1,200,623			1,771,845	-	1,771,845
福利厚生費	53,028	76,936			129,964	-	129,964
人件費計	37,185,130	47,353,637	395,030		84,933,797	-	84,933,797
(2) その他経費							
売上原価		9,337,460			9,337,460	-	9,337,460
業務委託費		1,592,532			1,592,532	-	1,592,532
諸謝金						46,806	46,806
印刷製本費			123,750		123,750	1,800	125,550
旅費交通費	1,081,959	51,361	26,996		1,160,316	-	1,160,316
車両費	158,300	444,462			602,762	-	602,762
通信運搬費	1,240,125	564,995	3,599		1,808,719	700	1,809,419
消耗備品費		49,751			49,751	-	49,751
消耗品費	947,184	2,029,086			2,976,270	30,228	3,006,498
修繕費		165,394			165,394	-	165,394
水道光熱費	393,320	6,207,700			6,601,020	-	6,601,020
地代家賃	2,955,576	601,859			3,557,435	-	3,557,435
賃借料		246,655			246,655	26,556	273,211
減価償却費	4	622,670			622,674	-	622,674
保険料	456,669	343,000			799,669	-	799,669
諸会費	16,978				16,978	-	16,978
負担金支出	1,667	257,416			259,083	-	259,083
租税公課	29,400	15,500			44,900	-	44,900
研修費	198,672	52,329			251,001	-	251,001
貸倒引当金繰入	2,291	3,905	▲ 290	632	6,538	-	6,538
支払手数料	833,295	193,277	1,120		1,027,692	▲ 125	1,027,567
新聞図書費		76,464			76,464	-	76,464
広告宣伝費	94,334	287,000			381,334	-	381,334
雑費	2,876	238,781			241,657	-	241,657
雑損失	572	13	3,780		4,365	-	4,365
その他経費計	8,413,222	23,381,610	158,955	632	31,954,419	105,965	32,060,384
事業費計	45,598,352	70,735,247	553,985	632	116,888,216	105,965	116,994,181
管理費配賦	12,702,279	6,637,036	449,209	12,394	19,800,918	▲ 19,800,918	0
経常費用計	58,300,631	77,372,283	1,003,194	13,026	136,689,134	381,708	137,070,842
当期経常剰余増減額	23,684,307	▲ 25,197,075	1,896,160	66,966	450,358	1,398,036	1,848,394

3. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
什器備品		700,000		700,000	583,333	116,667
車両運搬具	62,949			62,949	39,343	23,606
投資その他の資産						
保証金	154,000			154,000		154,000
敷金	50,000			50,000		50,000
長期前払費用	768,771	487,395	104,167	1,151,999		1,151,999
合計	1,035,720	1,187,395	104,167	1,418,948	39,343	1,496,272

財産目録

2015年3月31日現在

特定非営利活動法人都市生活コミュニティセンター

科目・摘要	金額（単位：円）		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金 本部 手元有高	33,747		
現金 あしすと武庫之荘 手元有高	15,882		
現金 あしすと神戸北 手元有高	10,000		
現金 ソーシャルコート神戸北 手元有高	450,000		
普通預金 三井住友銀行西宮支店2口座	19,393,670		
通常貯金 西宮駅前郵便局	6,028,016		
振替口座 西宮駅前郵便局	1,842,794		
未収金 兵庫県国民健康保険団体連合会	11,637,733		
未収金 西宮市	27,629		
未収金 喜楽苑他5件	683,582		
未収金 (株)ソーシャルライフ ひまわり保育園水光熱費他	286,964		
未収金 居宅介護サービス利用者103名	505,924		
未収金 ソーシャルコート神戸北入居者他	4,056,326		
未収金 街づくり夢基金他1件	50,604		
未収金 ホームヘルプサービス利用者	276,701		
未収金 (株)ウインナークラブ	86,391		
棚卸資産 ソーシャルコート神戸北食事サービス食材	237,005		
前払金 兵庫労働局	726,716		
前払金 貸貸事務所礼金次年度償却分	104,167		
立替金 (株)ソーシャルライフ モデルルーム用布団他	12,736		
立替金 エスコープ大阪他5件 ドメイン料	91,249		
立替金 未来へつなぐ尼崎の会他1件	20,304		
貸倒引当金	▲ 123,230		
流動資産合計		46,454,910	
2 固定資産			
什器備品 厨房機器	116,667		
車両運搬具 自動車4台	23,606		
保証金 駐車場	54,000		
保証金 あしすと神戸北事務所	100,000		
敷金 本部事務所	50,000		
長期前払費用 常勤役員生命保険	1,151,999		
固定資産合計		1,496,272	
資産合計			47,951,182
II 負債の部			
1 流動負債			
買掛金 生活クラブ生活協同組合都市生活	422,322		
買掛金 その他	449,434		
未払金 あしすと武庫之荘ヘルパー給与	1,784,198		
未払金 ソーシャルコートスタッフ給与	2,480,224		
未払金 あ・し・す・とヘルパー給与	1,227,786		
未払金 役員報酬等	607,477		
未払金 法人税	57,500		
未払金 法人県民税、事業税、地方法人特別税	43,400		
未払金 法人市民税	226,700		
未払金 消費税	1,015,300		
未払金 ソーシャルコート厨房スタッフ給与	816,579		
未払金 あしすと神戸北ヘルパー給与	731,561		
未払金 大阪ガス(株)	624,023		
未払金 その他	1,889,461		
前受金 ソーシャルコート神戸北入居者	716,416		
預り金 東日本大震災救援カンパ	942,031		
預り金 源泉所得税	94,177		
預り金 住民税	129,400		
預り金 その他	193,643		
流動負債合計		14,451,632	
負債合計			14,451,632
正味財産			33,499,550